

無石綿

NSベースネット工法

内・外装タイルはく落防止用ネット

NSベースネット工法は、下地モルタルと張付けモルタルをネットで連結することにより、コンクリート、ALCパネル面等のタイル張りのはく落を未然に防ぐ工法です。

特長

- 張付け界面がネットで連結されているので、はく落防止工法として有効です。
- ネットを挿入した張付け層が応力緩衝層として働き、下地の挙動に対してタイルのはく落を防止する効果があります。

標準仕様

■ 張付け材にNSベースネットモルタルを使用する場合

工法材料	荷姿	用途	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	施工面積
NSハイフレックス HF-1000	18kg/缶	吸水調整材	内・外壁	コンクリート、PC版、押出成形板、ALCパネル、ブロック、モルタル	モザイクタイル、小口平タイル、二丁掛タイル	HF-1000*1 18kg 清水 約72ℓ (5倍希釈液)	—	約600m ²
NSベースネット (ポリプロピレン不織布)	幅60cm 長さ100m	はく落防止用ネット				—	—	約60m ²
NSベースネットモルタル*2	25kg/袋	ネット張付け材				NSベースネットモルタル 25kg 清水 約6ℓ	3mm	約5.5m ²

■ 張付け材にNSボンドセメントを使用する場合

工法材料	荷姿	用途	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	施工面積
NSハイフレックス HF-1000	18kg/缶	吸水調整材	内・外壁	コンクリート、PC版、押出成形板、ALCパネル、ブロック、モルタル	モザイクタイル、小口平タイル、二丁掛タイル	HF-1000*1 18kg 清水 約72ℓ (5倍希釈液)	—	約600m ²
NSベースネット (ポリプロピレン不織布)	幅60cm 長さ100m	はく落防止用ネット				—	—	約60m ²
NSボンドセメント	25kg/袋	ネット張付け材				NSボンドセメント 25kg HF-1000*1 2kg 清水 約4ℓ	3mm	約5m ²

注) *1：NSハイフレックス HF-1000

注) *2：NSベースネットモルタルは、関西・中部支社限定販売となりますので、当社までご確認ください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

技術データ

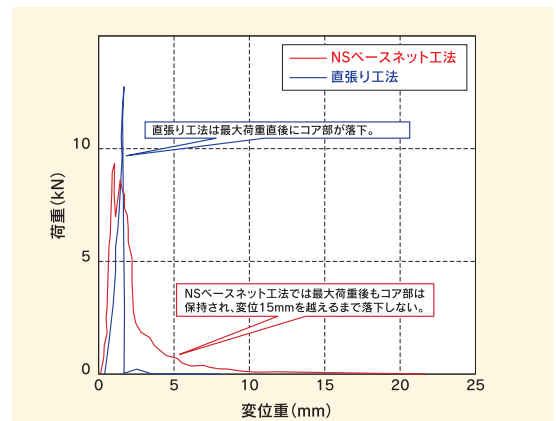
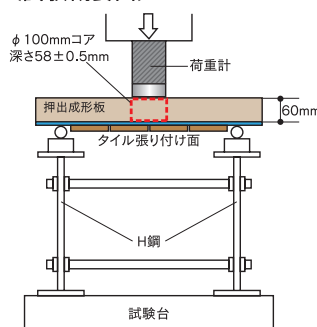
■ 押抜き試験

試験方法：NEXCO試験方法424-2009 はく落防止の押抜き試験方法に準ずる。

試験体仕様：下地；フラットパネル押出成形板、吸水調整材；NSハイフレックスHF-1000 5倍希釈液 1回塗布、タイル張付けモルタル；NSタイルセメントT-2、使用タイル；磁器質50二丁モザイクタイル、タイル張り工法；モザイクタイル張り工法。

試験条件：①ベースネット工法；20℃、65%RH、NSベースネットモルタルによるNSベースネット施工後材齢7日においてタイル張り、タイル張り付けモルタル材齢28日において試験実施。
②直張り工法；下地はタイルベースパネル押出成形板を使用するその他の試験体仕様・養生条件はNSベースネット工法と同様。タイル張り付けモルタル材齢28日において試験実施。

〔試験概要図〕



押抜き試験はコンクリートはく落防止対策に用いる連続繊維シートのはく落防止性能を評価する試験方法です。試験方法の規格では、変位量10mm以上の最大荷重を性能評価の基準の目安としています。NSベースネット工法により、はく落防止性能は明らかに向上します。

※これらのデータは、実際の現場での結果を保証するものではありません。

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

*下地モルタルによる表面調整が必要なときは、NSポリマーミックス等で、事前に処理をおこなってください。(詳しい施工方法はNSポリマーミックスのリーフレットを参照してください)

下地処理 (吸水調整材塗布)

下地の乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

*ALCパネルに施工する場合、ALCパネルは1枚ごとに伸縮調整目地を設けてください。

*ALCパネルに施工する場合は、吸水性が高いのでNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を2回塗布してください。

練混ぜ

●張付材にNSベースネットモルタルを使用する場合

NSベースネットモルタル25kgに対し、所定量の水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

●張付材にNSボンドセメントを使用する場合

NSボンドセメント25kgに対し、所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入し適量の水を加え、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

*ドライアウトの原因となりますので、所定量のNSハイフレックスHF-1000を必ず混入してください。

*強度低下の原因となりますので、加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

ベースネット 張付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように約3mmに塗り付けてください。ネット張付材塗り付け後、直ちにNSベースネットを上部から「しわ」にならないように張り付け、金ごてまたはスパイラルローラーでよく含浸するように埋め込んでください。

*気泡の抱込みや接着不良箇所が生じた場合は、その箇所を切断し張り直してください。

*はく落防止効果を得るために、NSベースネットの表面は1/3程度毛羽立ち状態になるようにしてください。

*充てん不足を起こしますので、NSベースネットは重ねないようにし、各ネットの間を約10mmあけてください。

養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

*夏季の施工において、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しく、強度が出ないおそれがある場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので塗付け後次工程までの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

タイル 張付け

タイル張付けを実施するときは、NSベースネットに張付材がよくなじむようにタイル張付け用振動工具等を用い施工してください。

*タイル張り、目地詰めには、当社の製品をご使用ください。

*使用材料、工法については、別途当社のタイル系カタログを参照してください。

*なじみが悪いと、はく離の原因となりますので、十分に一体化させてください。

■気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■本工法に使用する既調合品に、指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、NSベースネットは1年以内、NSベースネットモルタル・NSボンドセメントは3ヶ月以内、NSハイフレックスHF-1000は6ヶ月以内を目安に使用してください。



使用上の注意

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル



0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。